

徳島発「創造的超高齢社会」！ 30年後の未来を考える フューチャーセッション

11/30(土)



ボブ・スティルガー博士
※通訳あります

自治体や産業界、金融機関、研究者、 学生や高校生…立場を超えた対話をしよう！

いろんな立場や年代のひとびとが、わたしたちの住む「徳島」の未来について話を聞き・語り合い・想像し・学び合い・共創（コ・クリエーション）を起こすことを目的とした対話の場をつくります！ぜひご参加ください！

日時	11月30日(土) 10:00~17:00 (休憩時間：1時間半) 申込〆切 11/26(火)
場所	徳島大学フューチャーセンター A.BA 常三島キャンパス地域創生・国際交流会館5階 駐車場有※ただし限りがあります
対象	徳島の未来に興味のある方ならどなたでも 40人程度※定員に達し次第締め切らせていただきます
参加費	無料

ソーシャルビジネス x 研究者

ゲスト：

村上 稔氏

徳島県内の買い物難民を救う移動スーパーとくし丸・株式会社Tサポート 代表取締役



ゲスト：

安井 武史先生

医光融合研究や次世代光研究を推進する徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所長



ファシリテーター

ボブ・スティルガー博士

ニュー・ストーリーズ共同代表、世界的社会変革ファシリテーター



問合せ 徳島大学 学長企画室
E-Mail: gc_kikaku@tokushima-u.ac.jp

申込み 〆切 11/26(火)

右のQRコード、または下記URLの申込みフォームからお申込みください。
<https://bit.ly/2PAL50M>



フューチャーセッション概要

徳島大学が創立100周年を迎える2049年に「高齢化をすべての人が幸せになるチャンスに変える社会」を実現するために、わたしたちの体や心、世の中の仕組みや技術はどうなると良いのか？

このフューチャーセッションは、自治体や産業界、金融機関、研究者、学生や高校生たちが、立場や年代を越え、仲間として語り、未来を想像し、学び合い、共創（コ・クリエーション）につなげていくための場です。

ゲストは、徳島県の買い物難民を救うソーシャルビジネス「移動スーパーとくし丸」の村上稔さんと、徳島大学ポスト LED フォトニクス研究所長として次世代の光について研究をされている安井武史先生。

村上さんからはとくし丸の話を軸に、全国一高齢化が進む徳島県での、民間ができる高齢者支援現場の今とこれからの話を、安井先生からは徳島大学の最先端研究所の取組みが私たちの超高齢社会と言われる未来にどう関わってくるのかをお聞きます。

また、世界各地で社会変革に向けたダイアログ「対話の場」づくりを行ってきたボブ・スティルガー博士をメインファシリテータとして迎えフューチャーセッションを実施し、相互理解やつながりを深めていきたいと考えています。皆さんの参加をお待ちしております。

フューチャーセッションの流れ

※当日プログラムが変更になる可能性があります

- 9:30 開場
- 10:00 挨拶
- 10:05 チェックイン（自己紹介ワーク）
- 10:40 ゲストトーク 1 村上 稔氏
「ビジネスで田舎を残す、田舎で残る」
- 11:10 休憩
- 11:20 ゲストトーク 2 安井 武史先生
「次世代の光が切り拓く新しい未来」
- 11:40 ストーリーテリングトリオ（少人数での対話）
- 12:30 お昼（各自持参）
- 13:30 フューチャーセッション（グループでの対話）
- 15:00 休憩
- 15:15 フューチャーセッション（グループでの対話）
- 16:00 発表
- 16:30 チェックアウト
- 17:00 終了

ゲスト紹介



村上 稔氏

「ビジネスで田舎を残す、田舎で残る」

株 T サポート代表取締役・沖縄国際大学沖縄経済環境研究所特別研究員
徳島市議会議員 3 期、2012 年より買い物難民対策のソーシャルビジネスに取り組む。



安井 武史先生

「次世代の光が切り拓く新しい未来」

徳島大学ポスト LED フォトニクス研究所長、徳島大学副理事
医光融合研究や次世代光研究に所長として取り組む。

ファシリテーター紹介



ボブ・スティルガー博士

ニュー・ストーリーズ共同代表、社会変革ファシリテーター
地域や組織にイノベーションをもたらす対話の場づくりのプロとして、北米、南アフリカ、ジンバブエ、ブラジル、インドなどで活動。2011年の東日本大震災の発災後はたびたび来日し復興のための対話の場づくりに取り組んできた。

サブファシリテーター

玉有 朋子/徳島大学学長企画室 ファシリテーター
吉野 のりかず/とくしまワークショップらぼ 理事

フューチャーセッションとは

ヨーロッパの知識経営の現場から生まれた、地域や組織にイノベーションを生み出すための対話の場とプログラムのことを「フューチャーセンター」と呼びます。

日本国内でもまちづくり・市民参加による政策づくり・企業のイノベーション・大学教育など様々な場面でこのフューチャーセッションが行われています。

いろいろな立場の人たちが集まって、社会課題を解決してよりよい未来を生み出すためのアイデアを建設的に話し合い、さらにその未来を実現するための協働のアクションも一緒に考えていくのがその特徴。徳島の地域づくりでもその活用が期待されています。